

令和3年9月6日

関係各位

公益財団法人日本体操協会
コーチ育成委員会

**全日本選手権大会(体操競技・新体操・トランポリン競技)及びNHK杯(体操競技)
における指導スタッフの資格義務付けに関する経緯と一部方針の変更について**

2019年10月18日付、公財)日本体操協会コーチ育成委員会より、「2023年度以降の全日本選手権大会における指導スタッフへの資格義務付けについて(通知)」と題して、2023年度から体操競技、新体操及びトランポリン競技の全日本選手権大会に出場する指導者に対して、公財)日本スポーツ協会[以下、JSPO]公認のコーチ資格所持、即ち「コーチ3以上」を義務付ける旨、本会ホームページで広く伝達いたしました。 [2019年7月12日 常務理事会決議]

しかしながら、2020年2月以降、新型コロナウイルスの感染が拡大し一旦は収まりつつあったものの、その後再び蔓延してしまいました。

これを受け、当委員会では講習会の安全確保を最優先課題とし、比較的感染の少ない地域に講習会場を変更して計画を進めて参りましたが、感染状況は止まるところを知らず。

受講者・講師・運営者の感染と健康被害を懸念し、2020年12月の公認コーチ養成講習会(専門科目)は「中止」とさせていただきます。

そこで、上記の中止による資格義務付けへの影響を緩和するため、「2023年以降から適用…」としていた方針を「2024年以降から…」に変更することといたしました。

[2020年12月17日 理事会決議]

2021(令和3)年度に入り、当委員会内に国際級の資格を管轄する「国際部」を新たに設置し、更なる上級資格者、即ちFIGアカデミー修了者やJSPOマスター及びコーチ4の有資格者を育成することとなりました。

その際、基盤となる資格を「コーチ3」に設定する必要があったことから、全日本選手権に出場する段階では「すでにコーチ3を取得していることが望ましい」に変更し、先に方針として示していた「JGA専門科目修了者」だけでは出場を認めないことといたしました。

これに伴い、全日本体操競技選手権大会においては、「コーチ3」を持ってない大学生が競技エリア内で選手に付くケースが見られますが、この場合の措置については、各大学の「コーチ3以上」の資格を有する監督・コーチの管理・責任の下、出場申込の段階で出場申請を必要といたしました。なお、全日本選手権と同様、NHK杯でも指導スタッフへの資格義務付けを適用します。

[2021年7月2日 常務理事会決議]

詳細については別添資料をご確認願います。

未だ上記の資格をお持ちでない関係者は、是非、早い時期にご対応いただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

<問い合わせ先>

(公財)日本体操協会 公認コーチ養成担当 大原

e-mail: ohara◆jpn-gym.or.jp

(◆を@にかえてください)